

ファミリー劇場番組審議会議事録

【開催日時】

2017年8月28日(月)14:00~15:00

【場所】

株式会社 東北新社 本社 1階会議室

【出席者】(敬称略)

番組審議委員:芥川麻実子委員長、中町綾子委員、岩佐陽一委員、武内智雄委員、中嶋貞治委員

(欠席) 添田弘幸委員、岩本昭治委員

ファミリー劇場:服部洋之代表取締役社長、額健太郎営業部長、松崎航編成担当、田平岳史編成担当、大戸真里奈編成担当

■審議対象・オリジナル番組の説明

2017年新春に全国各地で開催された「中島みゆきリスペクトライブ 2017 歌縁」の東京公演を収録した番組。中島みゆきを敬愛する稀代の女性アーティストたちによる、中島みゆきの名曲だけで構成される公演である。

・企画概要

2017年1月、2月に行われた中島みゆきの名曲を著名アーティストが歌うライブ「中島みゆきリスペクトライブ 2017 歌縁」の全8公演のうち、「松本公演」、「富山公演」、「東京公演」の3公演の様相を4Kで収録し、ファミリー劇場にて4月に独占TV初放送(ファミリー劇場の放送は2K)。BSスカパー!と連携し、東京公演前日の2月18日に松本公演の先行放送。4月2日には中村中&室井滋出演の特別番組「歌縁 放送直前!トーク&ライブ」を無料放送し、ファミリー劇場への新規加入を促した。2月に行われた「東京公演」では、ライブ会場のオーチャードホールと、全国15箇所で行われたライブビューイング会場にて、ファミリー劇場での4月放送情報を記載したチラシを配布。放送告知と加入促進を実施した。さらに、「中島みゆきリスペクトライブ 歌縁」の放送にあわせて、中島みゆきのライブコンテンツ「歌旅 劇場版」「歌姫 劇場版」を特集放送。

■番組審議

オリジナル制作番組の「中島みゆきリスペクトライブ 2017 歌縁 東京公演」の審議を実施。各委員よりご意見を頂戴した。

- ・今回の企画を通して、ファミリー劇場がチャンネルとして、新旧関係なく「良いもの」を共有する意思を持っていることが伝わってきた。こういった編成が幅広い年齢層の支持を集める一端を担っていると感じた。
- ・歌には力があり、歌・音楽と映像・番組の親和性と、ファミリー劇場で歌番組を放送するという意外性を感じた。
- ・中島みゆきを敬愛する女性アーティストとして、大竹しのぶ、華原朋美をはじめ豪華なメンバーが登場し、地上波番組で見かけるほどの番組内容であった。中島みゆきだけでなく、他のアーティストへも興味が湧く内容であった。
- ・様々なアーティストが中島みゆきの曲を歌うことで中島みゆきの魅力を再確認した。
- ・特別番組「歌縁 放送直前!トーク&ライブ」内の室井滋のトークやナレーションを聞いて、中島みゆきへの深い思いを感じた。
- ・未だにオリコンでトップを取る中島みゆきの息の長さを感じた。その迫力さ故に圧倒されてしまった。
- ・ラジオ放送局である「ニッポン放送」と協力し、TVで放送するだけでなく、有料ライブビューイングを行いTV番組以外の有料コンテンツ化を実現させた新しいマネタイズが画期的である。「テレビ離れ」という現象が叫ばれる中でライブビューイングなど新しいアプローチをしていることがわかった。あらゆるメディアで盛り上げる仕掛けがうまい。
- ・簡単に調べることができるが、番組内で曲の製作年が知りたかった。また、懐かしいものが多いので、中島みゆきの当時の映像をもっと増やしてほしい。中島みゆきのこれまでの活動を振り返るような内容があればより良い。
- ・2時間番組の視聴は長いと感じたので、例えば、出演者ごとに区切った30分番組などがあると嬉しい。

以上